医療機関

入退院調整ルールに係る医療機関アンケート　集計結果

令和3年11月実施

○アンケート回収状況（西諸地域の病院と有床診療所）

〔機関〕

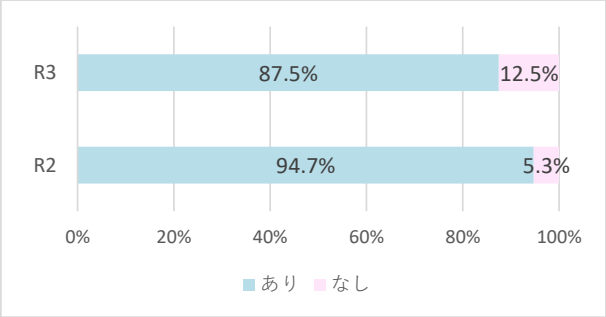
	令和3年度	令和2年度
配布機関数	24	24
回答機関数	16	19
回収率	66.7%	79.2%

≪入院時について≫

【問１】令和３年１１月中に介護保険を利用している患者が入院したケースの有無

〔機関〕

	令和3年度	令和2年度
あり	14	18
なし	2	1
計	16	19



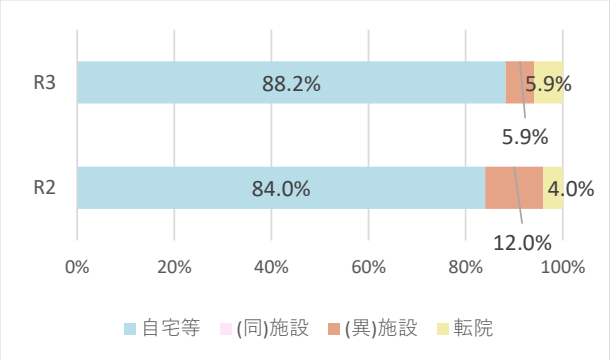
入院ケースありの場合について

（１）入院前の居住場所（※介護区分の無回答…2件）

①要支援の場合　〔件〕

	令和3年度	令和2年度
自宅等	30	21
(同)施設	0	0
(異)施設	2	3
転院	2	1
計	34	25

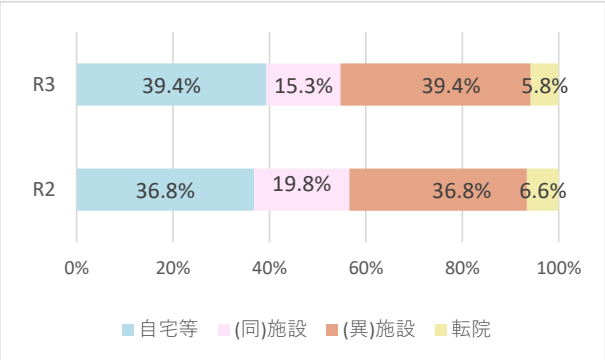
※(同)施設…同法人の施設、(異)施設…同法人以外の施設



②要介護の場合（※行先無回答…3件）　〔件〕

	令和3年度	令和2年度
自宅等	54	67
(同)施設	21	36
(異)施設	54	67
転院	8	12
計	137	182

※(同)施設…同法人の施設、(異)施設…同法人以外の施設

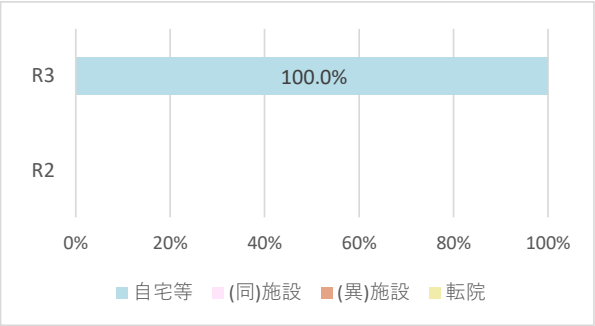


③申請中の場合

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
自宅等	6	0
(同)施設	0	0
(異)施設	0	0
転院	0	0
計	6	0

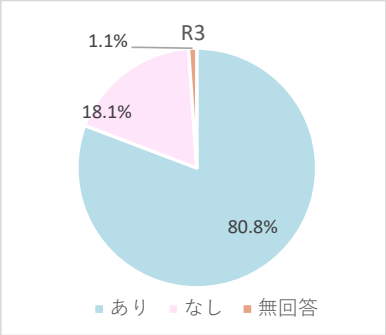
※(同)施設…同法人の施設、(異)施設…同法人以外の施設



（2）医療機関及びケアマネ等との間で連絡のやり取りの有無

〔件〕

	令和3年度
あり	147
なし	33
無回答	2
計	182



参考：入院時ケアマネから医療機関へ連絡の有無

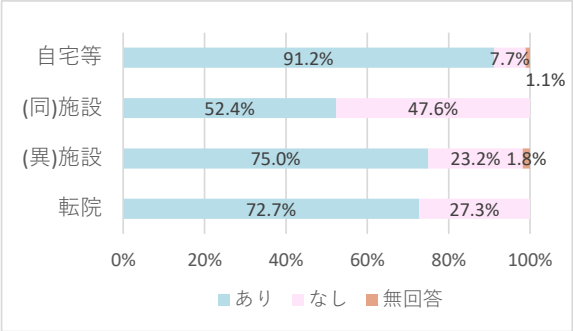
	令和2年度
あり	79
なし	128
無回答	0
計	207

○入院前の居住場所別の内訳

〔件〕

令和3年度	自宅等	(同)施設	(異)施設	転院	無回答	計
あり	83	11	42	8	3	147
なし	7	10	13	3	0	33
無回答	1	0	1	0	0	2

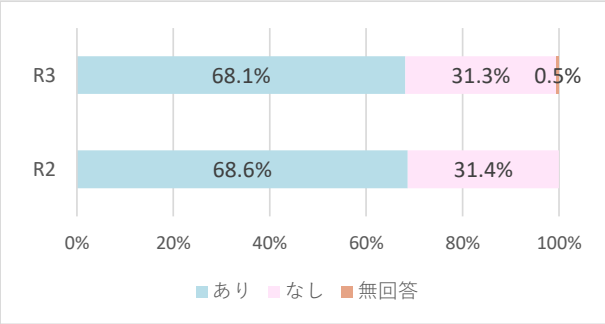
※(同)施設…同法人の施設、(異)施設…同法人以外の施設



（3）ケアマネから医療機関へ、様式１（入院時情報提供書）の受取状況

〔件〕

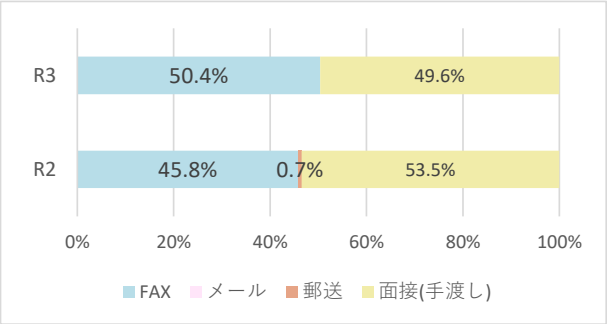
	令和3年度	令和2年度
あり	124	142
なし	57	65
無回答	1	0
計	182	207



（４）（３）で回答のあった様式1（入院時情報提供書）の受取方法　※複数回答可

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
FAX	66	66
メール	0	0
郵送	0	1
面接(手渡し)	65	77
計	131	144

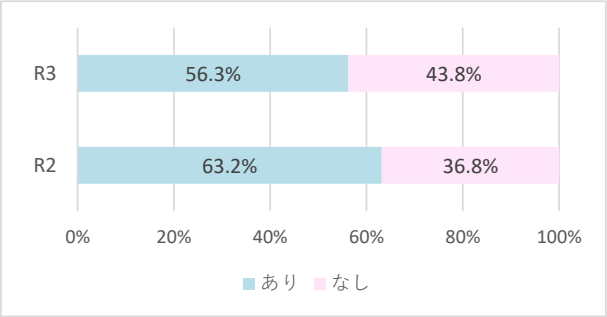


≪新たに介護サービスが必要な場合≫

【問２】令和３年１１月中に入院していた要介護認定を受けていないまたはケアマネが決まっていない患者が、 新たに介護保険を利用するケースの有無

〔機関〕

	令和3年度	令和2年度
あり	9	12
なし	7	7
計	16	19



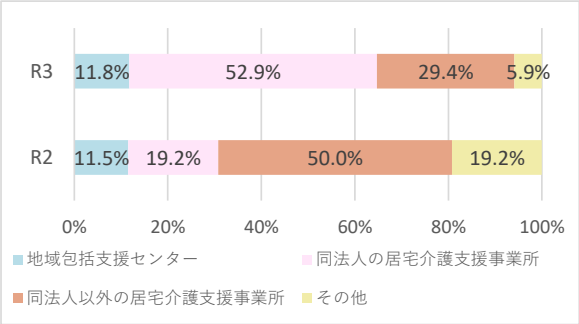
新たに介護保険を利用するケースありの場合について

（１）退院後、介護サービスが必要と思われる場合の連絡先

①要介護レベルの患者

〔件〕

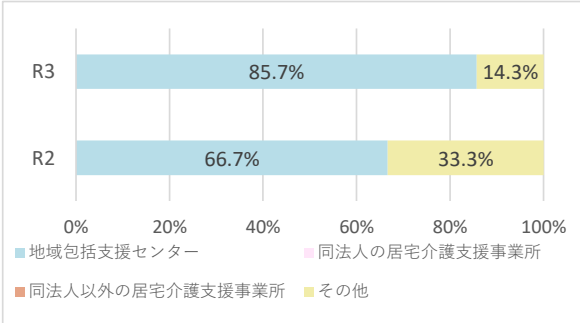
	令和3年度	令和2年度
地域包括支援センター	2	3
同法人の居宅介護支援事業所	9	5
同法人以外の居宅介護支援事業所	5	13
その他	1	5
計	17	26



②要支援レベルの患者

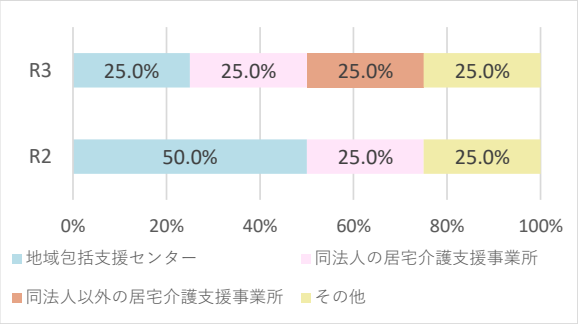
〔件〕

	令和3年度	令和2年度
地域包括支援センター	6	4
同法人の居宅介護支援事業所	0	0
同法人以外の居宅介護支援事業所	0	0
その他	1	2
計	7	6



③要介護か要支援か分からないレベルの患者 〔件〕

	令和3年度	令和2年度
地域包括支援センター	1	2
同法人の居宅介護支援事業所	1	1
同法人以外の居宅介護支援事業所	1	0
その他	1	1
計	4	4

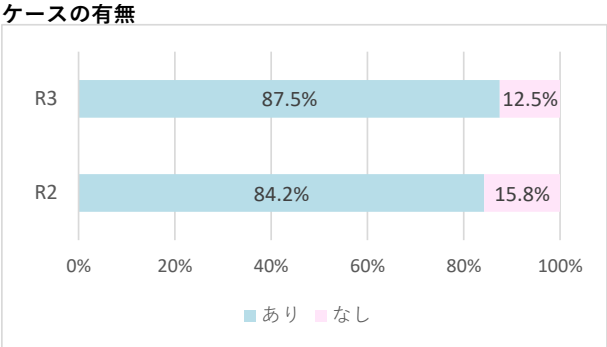


≪退院時について≫

【問３】令和３年１１月中に介護保険を利用している患者が退院したケースの有無

〔機関〕

	令和3年度	令和2年度
あり	14	16
なし	2	3
計	16	19



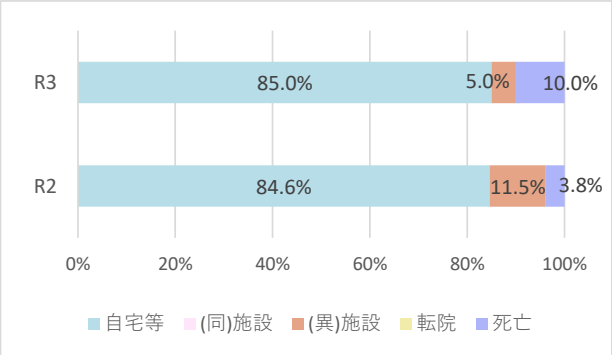
<u>退院ケースありの場合について</u>

（１）退院後の行き先 （※介護区分の無回答…2件）

①要支援の場合 〔件〕

	令和3年度	令和2年度
自宅等	17	22
(同)施設	0	0
(異)施設	1	3
転院	0	0
死亡	2	1
計	20	26

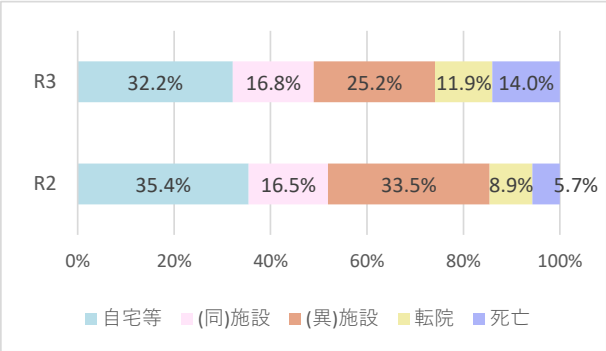
※(同)施設…同法人の施設、(異)施設…同法人以外の施設



②要介護の場合 （※行先無回答…1件） 〔件〕

	令和3年度	令和2年度
自宅等	46	56
(同)施設	24	26
(異)施設	36	53
転院	17	14
死亡	20	9
計	143	158

※(同)施設…同法人の施設、(異)施設…同法人以外の施設

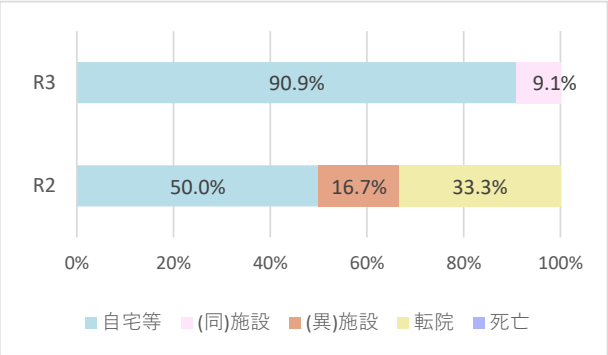


③申請中の場合

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
自宅等	10	3
(同)施設	1	0
(異)施設	0	1
転院	0	2
死亡	0	0
計	11	6

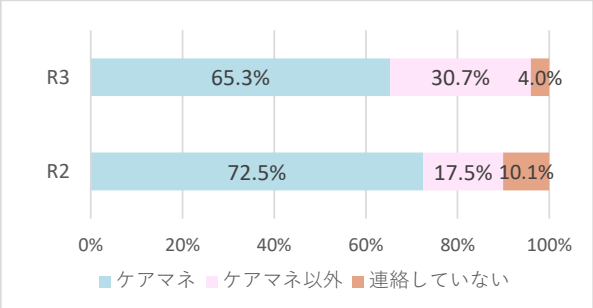
※(同)施設…同法人の施設、(異)施設…同法人以外の施設



（2）医療機関からケアマネ等へ退院時の連絡先　※複数回答可

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
ケアマネ	130	137
ケアマネ以外	61	33
連絡していない	8	19
計	199	189

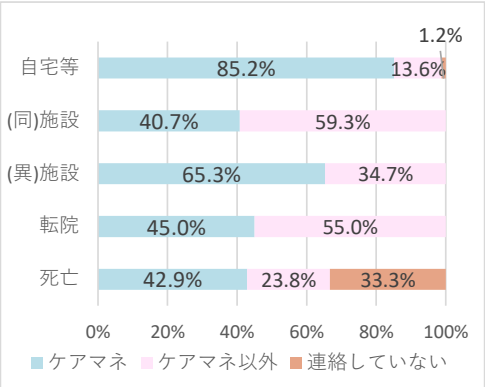


○退院後の行き先別の内訳

〔件〕

連絡先	自宅等	(同)施設	(異)施設	転院	死亡	無回答	計
ケアマネ	69	11	32	9	9	0	130
ケアマネ以外	11	16	17	11	5	1	61
連絡していない	1	0	0	0	7	0	8

※(同)施設…同法人の施設、(異)施設…同法人以外の施設

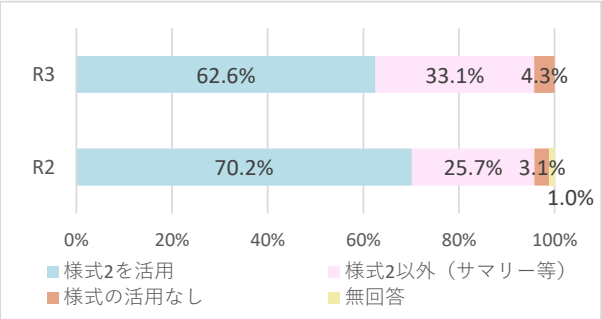


（3）医療機関からケアマネ等へ情報提供書の活用状況　※複数回答可

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
様式2を活用	102	134
様式2以外（サマリー等）	54	49
様式の活用なし	7	6
無回答	0	2
計	163	191

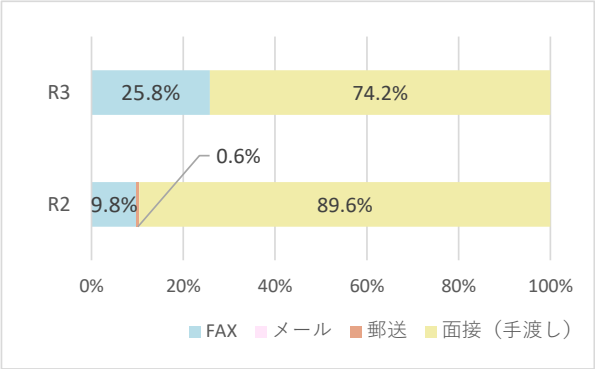
※死亡の場合を除く



（4）（3）で回答のあった活用している情報提供書の提供方法　※複数回答可

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
FAX	40	17
メール	0	0
郵送	0	1
面接（手渡し）	115	155
計	155	173

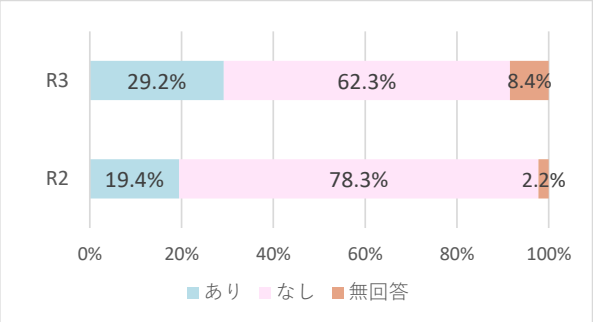


（5）医療機関からケアマネ等へカンファレンス参加を促したか

〔件〕

	令和3年度	令和2年度
あり	45	35
なし	96	141
無回答	13	4
計	154	180

※死亡の場合を除く

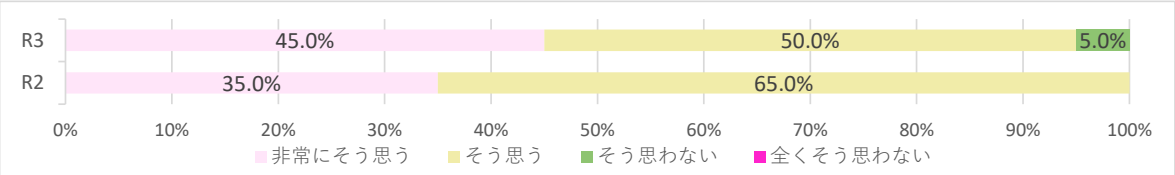


（6）医療機関からケアマネ等へ退院日時を連絡した時期(平均日数)

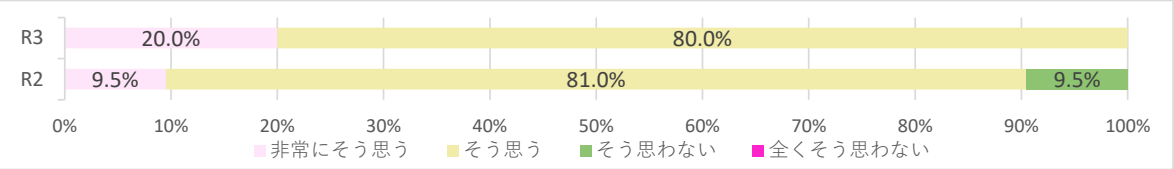
	令和3年度	令和2年度
要支援	退院より3.8日前	退院より4日前
要介護	退院より3.6日前	退院より3.7日前
申請中	退院より4.6日前	退院より9日前

【問５】入退院支援等について

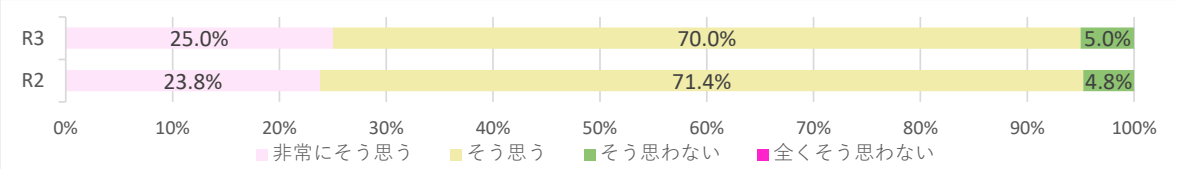
① 介護保険を利用している患者が入院した場合、早い段階でケアマネと情報共有ができている。



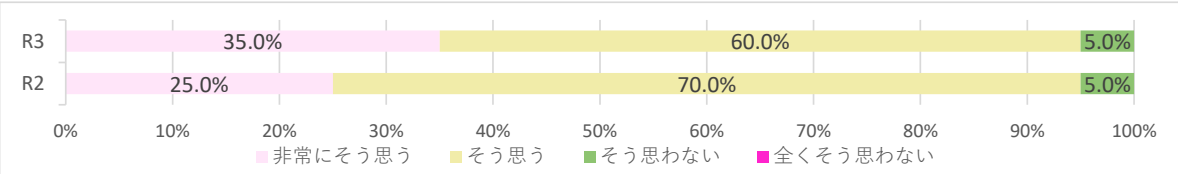
② 入院時、ケアマネからの情報は十分であった。



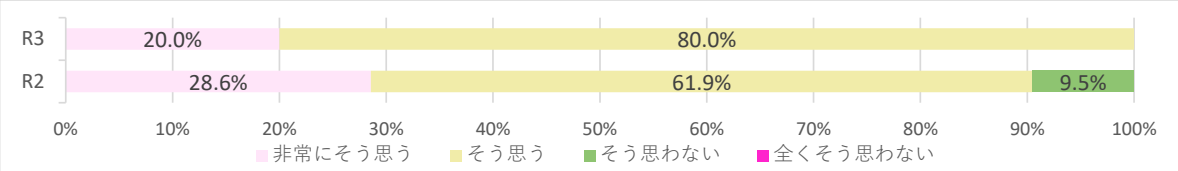
③ 要支援・要介護状態の患者が退院する場合、ケアマネ又は地域包括支援センターと退院に向けた情報共有ができている。



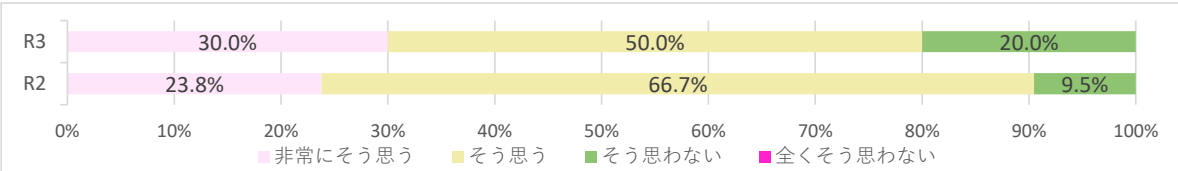
④ 入院前にケアマネがおらず、退院後介護サービスが必要と思われる方については地域包括支援センターまたは居宅介護支援事業所に連絡できている。



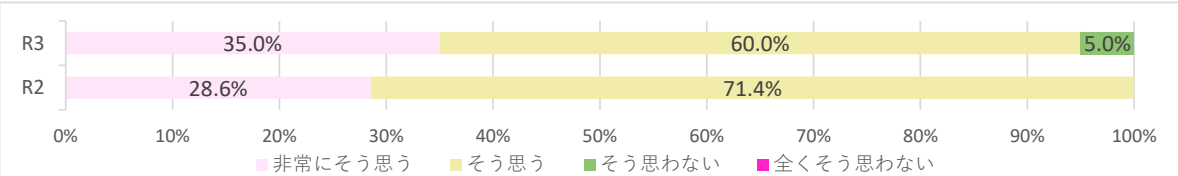
⑤ 病状や退院後の生活について、退院時に患者や家族へ十分な説明ができている。



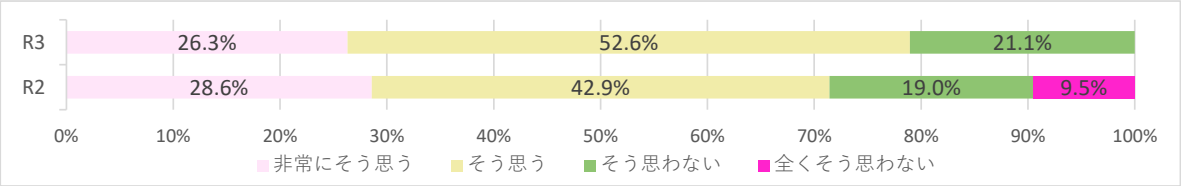
⑥ 患者が介護保険を利用している場合、入院時にケアマネの把握ができている。



⑦ ケアマネの役割を理解できている。

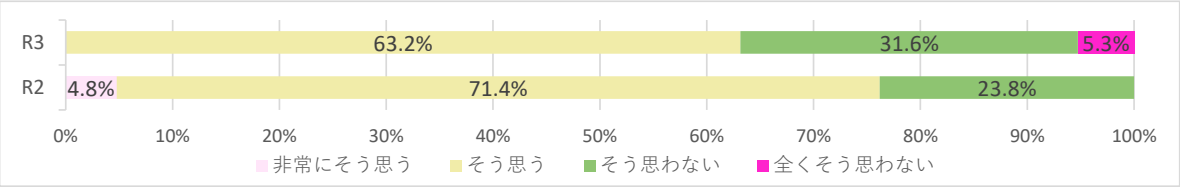


⑧　退院前のカンファレンス開催時にケアマネに連絡ができている。

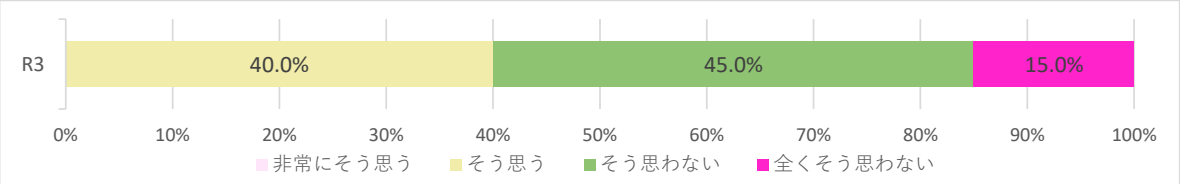


【問６】「にしもろ入退院調整ルールブック」について

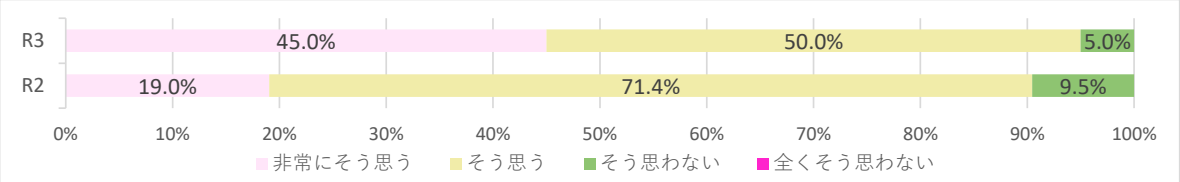
①　「にしもろ入退院調整ルールブック」が院内で周知されている。



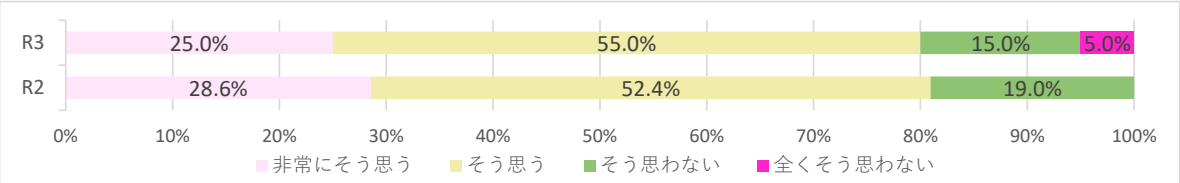
②　「にしもろ入退院調整ルールブック」のWEB版(結netにしもろホームページ内)を活用している。



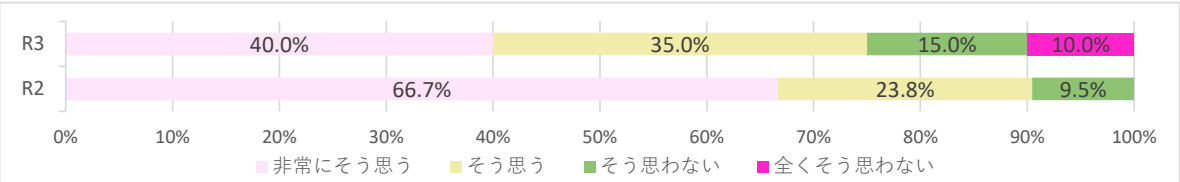
③　ルールブックの冊子またはWEB版の「地域包括支援センター・居宅介護支援事業所窓口一覧表」を活用している。



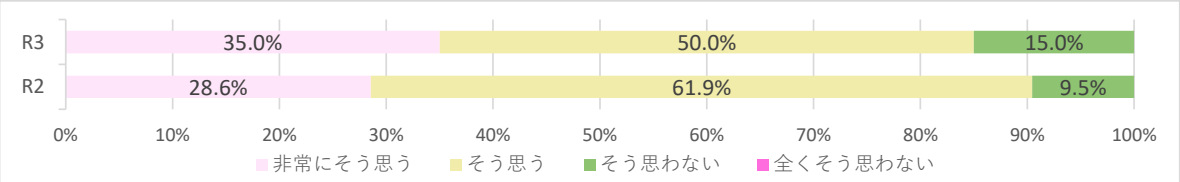
④　ルールブックの冊子またはWEB版の「各市町(保険者)窓口一覧表」を活用している。



⑤　ルールブックの冊子またはWEB版の「退院時情報提供書」を活用している。



⑥　「にしもろ入退院調整ルールブック」策定後、ケアマネとの連携がスムーズになった。



※②～⑤について、令和3年度ではルールブック冊子だけではなく、WEB版の活用があったかを設問に追加している。

【問４】問３で退院前カンファレンスへの参加を促していないと回答した場合、その理由をご記入下さい

《コロナ感染予防に関する事》
・コロナ禍で当院でのカンファレンス開催が出来なかった。（電話で情報共有を行った）
・新型コロナウイルス感染症によりカンファレンスの開催自体実施できていない。WEB開催なし。
・新型コロナ感染症による面会制限があるため。
・感染予防により電話や書面での情報提供が主となっていた。
・新型コロナウイルスの感染状況により対応しているため。

《カンファレンス以外で情報交換を行っているため》
・同法人内での入退院者がほぼであり、退院前カンファレンスは行わず調整会議（法人内）や面談電話等で対応する事が多い状況。
・退院前カンファレンスを行っていないが、直接ケアマネや家族へ説明を行っている。
・自施設内のケアマネとは直接情報交換で面会がスムーズにでき、必要と感じなかったため。
・同法人の施設入所の場合、情報共有や面会等により、カンファレンスなしでも充分と思われる場合。
・こまめな連絡（施設、担当ケアマネ）をしており、情報共有ができていることもあったため、カンファレンスの開催までには至らないケースもあった。
・退院までの日数が短かったり施設との連携調整で対応している。

《患者の病状によりカンファレンスが不要であったため》
・脳出血、消化管出血、胃ろう創設、骨折での転院のため。
・短期入院で急性期の治療終了し、ＡＤＬ等入院前と変化なく退院となった。
・入院前の状況と変わりがなく、サービス継続で変更はなかったため、カンファレンスの開催は行わなかった。

《その他》
・通常より退院前カンファレンスを行わない施設なので。
・死亡退院となったため。
・本人が急に退院を希望され当日に退院されたため。

【問7】入退院調整に関して困っていること等があればご記入下さい

《ケアマネとの連携に関する事》

・入院中の状態についてこまめに確認の連絡が入る方もいれば、そうでない方もいる。病院側も状態変化があった時は担当ケアマネに連絡しているが入院中の状況確認などもう少し積極的に連絡して下さると連携がとりやすいのではないかと思う。

・ケアマネの勤務の都合で退院日が延びることがある。

・病院同士の転院調整に関して、相談員は連携できているが、ケアマネと連絡が取りづらいケースがあった。

《介護保険の申請に関する事》

・介護保険の代行申請を病院に依頼される場合があるが、病院では代行申請できないため、包括支援センターや居宅介護支援事業所で申請をお願いしたい。

《医療機関内のスタッフに関する事》

・スタッフが退院支援について十分理解していないことがある。

・リハビリ室との目標設定が合わないことがあり、退院が先延ばしになることもある。

《その他》

・患者本人や家族の不安を取り除くことなく退院となること。

・独居世帯や身寄りがいない方の入退院支援に行政機関と連携して支援できるシステムの構築が必要。

・医師の指示で退院決定しても行き先が決まらず、他の患者の入院調整に支障をきたした事例があった。

・コロナ感染流行から病院の方針として、外出、外泊、試験外泊、家屋調査の本人同行が難しくなり看護師やセラピストの評価のみで退院後の生活をイメージして退院となることが多くなった。